

# 日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)

## 運用報告書 (全体版)

第67期 (決算日 2016年5月17日) 第69期 (決算日 2016年7月19日) 第71期 (決算日 2016年9月20日)  
第68期 (決算日 2016年6月17日) 第70期 (決算日 2016年8月17日) 第72期 (決算日 2016年10月17日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

「日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型 (新興国通貨戦略コース)」は、2016年10月17日に第72期の決算を行いましたので、第67期から第72期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	2010年10月29日から2020年10月19日までです。
運用方針	主として、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券 (投資信託または外国投資信託の受益証券 (振替投資信託受益権を含みます。)) および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。の一部、またはすべてに投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	第1計算期から第2計算期までは収益分配を行ないません。第3計算期以降、毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

<652946>

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
http://www.nikkoam.com/

### 当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	標準価額			債 組 入 比	券 率	投 資 組 入 比	信 託 券 率	純 資 産 額
		税 分	込 配	み 金					
	円		円		%		%	百万円	
43期(2014年5月19日)	4,245		90		3.6	0.1	98.9	22,080	
44期(2014年6月17日)	4,118		90	△	0.9	0.1	98.6	21,100	
45期(2014年7月17日)	4,103		90		1.8	0.1	98.5	20,571	
46期(2014年8月18日)	3,976		90	△	0.9	0.1	98.4	19,707	
47期(2014年9月17日)	3,822		90	△	1.6	0.1	98.5	18,702	
48期(2014年10月17日)	3,606		90	△	3.3	0.1	98.2	17,458	
49期(2014年11月17日)	3,564		90		1.3	0.1	98.3	16,971	
50期(2014年12月17日)	3,013		60	△	13.8	0.1	97.9	13,884	
51期(2015年1月19日)	3,380		60		14.2	0.1	98.5	15,262	
52期(2015年2月17日)	3,297		60	△	0.7	0.1	98.9	14,520	
53期(2015年3月17日)	3,174		60	△	1.9	0.1	98.7	13,507	
54期(2015年4月17日)	3,325		60		6.6	0.1	98.6	13,844	
55期(2015年5月18日)	3,152		60	△	3.4	0.1	98.2	12,934	
56期(2015年6月17日)	2,997		40	△	3.6	0.1	98.8	12,018	
57期(2015年7月17日)	2,961		40		0.1	0.1	98.8	11,536	
58期(2015年8月17日)	2,668		40	△	8.5	0.1	98.5	10,108	
59期(2015年9月17日)	2,448		40	△	6.7	0.1	98.6	9,062	
60期(2015年10月19日)	2,489		40		3.3	0.1	98.4	9,090	
61期(2015年11月17日)	2,435		40	△	0.6	0.1	98.6	8,660	
62期(2015年12月17日)	2,254		20	△	6.6	0.1	98.5	7,756	
63期(2016年1月18日)	2,178		20	△	2.5	0.1	98.5	7,266	
64期(2016年2月17日)	2,084		20	△	3.4	0.1	97.8	6,827	
65期(2016年3月17日)	2,284		20		10.6	0.1	98.2	7,270	
66期(2016年4月18日)	2,372		20		4.7	—	98.5	7,417	
67期(2016年5月17日)	2,386		20		1.4	—	98.5	7,372	
68期(2016年6月17日)	2,408		20		1.8	—	98.5	7,196	
69期(2016年7月19日)	2,564		20		7.3	—	98.2	7,453	
70期(2016年8月17日)	2,553		20		0.4	—	97.9	7,251	
71期(2016年9月20日)	2,458		20	△	2.9	—	98.5	6,802	
72期(2016年10月17日)	2,520		20		3.3	—	98.4	6,877	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比	券 率	投 資 信 託 組 入 比	託 券 率
			騰 落	率				
第67期	(期 首) 2016年 4月18日	円 2,372		% —		% —		% 98.5
	4月末	2,441		2.9		—		98.7
	(期 末) 2016年 5月17日	2,406		1.4		—		98.5
第68期	(期 首) 2016年 5月17日	2,386		—		—		98.5
	5月末	2,401		0.6		—		98.6
	(期 末) 2016年 6月17日	2,428		1.8		—		98.5
第69期	(期 首) 2016年 6月17日	2,408		—		—		98.5
	6月末	2,529		5.0		—		98.5
	(期 末) 2016年 7月19日	2,584		7.3		—		98.2
第70期	(期 首) 2016年 7月19日	2,564		—		—		98.2
	7月末	2,495		△2.7		—		98.4
	(期 末) 2016年 8月17日	2,573		0.4		—		97.9
第71期	(期 首) 2016年 8月17日	2,553		—		—		97.9
	8月末	2,505		△1.9		—		98.3
	(期 末) 2016年 9月20日	2,478		△2.9		—		98.5
第72期	(期 首) 2016年 9月20日	2,458		—		—		98.5
	9月末	2,503		1.8		—		98.6
	(期 末) 2016年10月17日	2,540		3.3		—		98.4

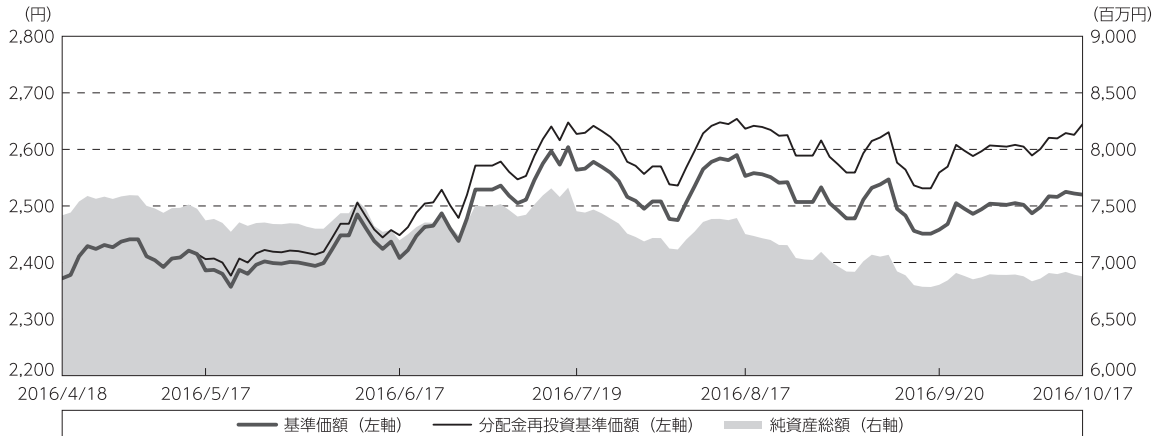
(注) 期末の基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ○運用経過

（2016年4月19日～2016年10月17日）

## 作成期間中の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首（2016年4月18日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界の様々な資産を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

## ＜値上がり要因＞

- ・組入れ資産からインカム収入を得たこと。
- ・新興国通貨戦略がプラスに寄与したこと。
- ・高利回り債券が値上がりしたこと。
- ・不動産等関連証券が値上がりしたこと。
- ・優先証券が値上がりしたこと。

## 投資環境

### （高利回り債券市況）

高利回り債券市場は上昇しました。高利回り債券インデックスは2016年4月から9月まで6ヵ月連続でプラスを記録するなど、3月以降の好調を維持しました。日本や欧州の中央銀行による緩和的な金融政策や、米国の政策金利据え置きを映じた、世界的な低金利環境下での高利回り資産への投資ニーズの高まり、原油などの商品価格の底打ちを受けたエネルギー・資源企業の景況感改善、および過度の中国懸念の後退が背景に挙げられます。セクター別ではエネルギー・資源が、格付け別では低格付けが特に力強い上昇を記録し、高利回り債券市場全体の上昇を牽引しました。

### （不動産等関連証券市況）

REIT市場は下落しました。期間の初めから2016年7月にかけては、英国のEU（欧州連合）離脱を問う国民投票を材料に一時的に調整する局面は見られたものの、世界的な低金利や、世界経済の緩やかな成長を裏付けとした不動産市況の堅調を映じて、REIT市場は上昇しました。期間の後半は米国金利が上昇に転じたことを嫌気してREIT市場は下落しました。国別では、国民投票がネガティブサプライズとなった英国が冴えませんでした。セクター別では、利益成長の鈍化により住宅、ホテル／リゾートが、英国とオーストラリアの不振を要因に商業施設が、それぞれ軟調でした。

期間中、MLP市場は上昇しました。原油、天然ガス市況の持ち直しによりMLP市場の底打ちが明確となりました。

### （優先証券市況）

優先証券市場は上昇しました。他の高利回り資産と同様に、利回りニーズを求める投資資金の流入を映じて、優先証券市場も堅調な展開となりました。2016年6月の英国の国民投票結果判明直後には英国や欧州の銀行の優先証券が大幅に調整する局面もありましたが、市場は短期間で落ち着きを取り戻しました。9月には、米国での住宅ローン担保証券販売を巡り、米国司法省から巨額の制裁金支払いを要求されていると報じられたドイツ銀行への信用懸念が高まりましたが、他の銀行への影響は限定的でした。

### （国内短期金利市況）

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.07%近辺から、日銀のマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.19%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.29%近辺で期間末を迎えました。

## 当ファンドのポートフォリオ

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

（ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス）

相対的に高い利回りが期待できる3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行ないました。資産配分においては、高利回り債券55%、不動産等関連証券25%、優先証券等20%をめどとしました。現物資産への投資にあたっては、外貨建て部分について、原則として対円で為替ヘッジを行ないました。

また、新興国通貨の中から、金利水準などをもとに、買い建てる通貨と売り建てる通貨を選択し、金利が相対的に高い通貨を買い建てると同時に金利が相対的に低い通貨を売り建てることで、金利収入の獲得をめざしました。各資産における運用経過は以下の通りです。

高利回り債券の運用においては、電子機器、情報通信、サービスセクターの投資比率を引き上げた一方、メディア、銀行、ヘルスケアセクターを引き下げました。信用力が高めの銘柄を中心としたポートフォリオ構成を維持しました。

不動産等関連証券の運用においては、REITとMLPの配分は概ね3対2としました。

REITでは、米国の組入比率を若干引き下げました。欧州では、EU離脱交渉を巡る不透明感を考慮し、英国の組入れを引き続き抑制しました。アジアでは、日本を引き下げ一方、オーストラリアとシンガポールのウェイトを引き上げました。セクター別では、高齢者用住宅市場が供給過剰になり始めている点を勘案し、ヘルスケアの組入比率を一段と縮小しました。

MLPでは、石油・天然ガス精製・販売セクターのウェイトを引き下げました。

優先証券の運用においては、発行体がコールを実施しない可能性やその場合の価格リスクについても注視しながら、クーポンの高い銘柄や（金利上昇に備えて）変動金利水準の高い銘柄を組み入れるなど、銘柄選択を通じて投資リターンを拡大をめざしました。

期間中の新興国通貨戦略は、金利水準などをもとに、買い建てる通貨と売り建てる通貨を選択し、運用を行ないました。原油価格の安定、および米国の追加利上げ見送りによりアメリカドル高圧力が緩和され、新興国通貨への投資安心感が高まったことから、高金利・資源国通貨が多く含まれる買いポジションが利益を生みました。これに金利差による利益が加わり、戦略全体でパフォーマンスはプラスに寄与しました。

（マネー・アカウント・マザーファンド）

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## 分配金

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日
当期分配金	20	20	20	20	20	20
（対基準価額比率）	0.831%	0.824%	0.774%	0.777%	0.807%	0.787%
当期の収益	20	20	20	20	20	20
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	1,556	1,578	1,602	1,624	1,647	1,671

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨五入して算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

### ○今後の運用方針

#### （当ファンド）

引き続き、「ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

#### （ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス）

引き続き、原則として、3つの資産（高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等）に投資を行なう方針です。現物資産のうち外貨建ての部分については原則として対円で為替ヘッジを行ない、さらに新興国通貨戦略を行なう方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

#### （マネー・アカウント・マザーファンド）

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○1万口当たりの費用明細

(2016年4月19日～2016年10月17日)

項 目	第67期～第72期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円	%	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	( 3 )	(0.140)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	(11)	(0.425)	運用報告書など各種書類の送付、口内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 0 )	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.010	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 監 査 費 用 )	( 0 )	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 0 )	(0.007)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
( そ の 他 )	( 0 )	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	14	0.592	
作成期間の平均基準価額は、2,479円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

## ○売買及び取引の状況

(2016年4月19日～2016年10月17日)

## 投資信託証券

銘 柄		第67期～第72期			
		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	千口	千円	千口	千円	
	ハイブリッド・トライ・アセット・ファンドエマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス	2,234,083	360,181	5,850,662	959,393

(注) 金額は受け渡し代金。



## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第67期～第72期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
マネー・アカウント・マザーファンド	千口 587	千円 590	千口 943	千円 947

## ○利害関係人との取引状況等

(2016年4月19日～2016年10月17日)

## 利害関係人との取引状況

## &lt;日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型（新興国通貨戦略コース）&gt;

区分	第67期～第72期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 360	百万円 360	% 100.0	百万円 959	百万円 959	% 100.0
金銭信託	63	63	100.0	63	63	100.0

## &lt;マネー・アカウント・マザーファンド&gt;

区分	第67期～第72期					
	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 275	百万円 275	% 100.0	百万円 275	百万円 275	% 100.0

平均保有割合 1.5%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当ファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況（2016年4月19日～2016年10月17日）

該当事項はございません。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2016年4月19日～2016年10月17日)

該当事項はございません。

## ○組入資産の明細

(2016年10月17日現在)

## ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	第66期末		第72期末			
		口	数	口	数	評 価 額	比 率
			千口		千口	千円	%
ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス		45,354,750		41,738,171		6,765,757	98.4
合	計	45,354,750		41,738,171		6,765,757	98.4

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

## 親投資信託残高

銘	柄	第66期末		第72期末		
		口	数	口	数	評 価 額
			千口		千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		7,091		6,735		6,763

(注) 親投資信託の2016年10月17日現在の受益権総口数は、484,514千口です。

## ○投資信託財産の構成

(2016年10月17日現在)

項	目	第72期末	
		評 価 額	比 率
		千円	%
投資信託受益証券		6,765,757	96.9
マネー・アカウント・マザーファンド		6,763	0.1
コール・ローン等、その他		213,223	3.0
投資信託財産総額		6,985,743	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第67期末	第68期末	第69期末	第70期末	第71期末	第72期末
	2016年5月17日現在	2016年6月17日現在	2016年7月19日現在	2016年8月17日現在	2016年9月20日現在	2016年10月17日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	7,493,020,076	7,384,648,067	7,648,729,165	7,391,771,633	6,885,588,308	6,985,743,517
コール・ローン等	184,202,022	254,350,797	189,099,658	193,506,647	163,245,788	170,180,860
投資信託受益証券(評価額)	7,261,874,068	7,089,422,107	7,316,472,828	7,102,046,335	6,702,539,217	6,765,757,527
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	7,381,598	7,209,554	7,342,434	7,186,725	6,966,427	6,763,499
未収入金	39,562,388	33,665,609	135,814,245	89,031,926	12,836,876	43,041,631
(B) 負債	120,736,612	188,240,265	195,310,356	140,370,282	82,751,694	108,408,846
未払収益分配金	61,793,205	59,774,998	58,129,472	56,804,109	55,352,662	54,587,948
未払解約金	50,696,759	119,739,112	127,952,382	75,010,830	18,167,948	46,276,820
未払信託報酬	6,964,980	7,269,270	7,588,677	6,757,606	7,597,615	5,918,241
未払利息	358	269	187	182	180	163
その他未払費用	1,281,310	1,456,616	1,639,638	1,797,555	1,633,289	1,625,674
(C) 純資産総額(A-B)	7,372,283,464	7,196,407,802	7,453,418,809	7,251,401,351	6,802,836,614	6,877,334,671
元本	30,896,602,888	29,887,499,323	29,064,736,032	28,402,054,599	27,676,331,419	27,293,974,066
次期繰越損益金	△23,524,319,424	△22,691,091,521	△21,611,317,223	△21,150,653,248	△20,873,494,805	△20,416,639,395
(D) 受益権総口数	30,896,602,888口	29,887,499,323口	29,064,736,032口	28,402,054,599口	27,676,331,419口	27,293,974,066口
1万口当たり基準価額(C/D)	2,386円	2,408円	2,564円	2,553円	2,458円	2,520円

(注) 当ファンドの第67期首元本額は31,267,502,801円、第67～72期中追加設定元本額は265,765,606円、第67～72期中一部解約元本額は4,239,294,341円です。

(注) 1口当たり純資産額は、第67期0.2386円、第68期0.2408円、第69期0.2564円、第70期0.2553円、第71期0.2458円、第72期0.2520円です。

(注) 2016年10月17日現在、純資産総額は元本額を下回っており、その差額は20,416,639,395円です。

## ○損益の状況

項 目	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	134,651,537	131,280,135	128,805,923	126,939,244	124,898,421	124,171,090
受取配当金	134,659,005	131,285,754	128,810,655	126,943,617	124,903,370	124,174,206
受取利息	-	222	35	-	-	-
支払利息	△ 7,468	△ 5,841	△ 4,767	△ 4,373	△ 4,949	△ 3,116
(B) 有価証券売買損益	△ 22,882,520	78,449	391,707,264	△ 95,736,445	△ 325,865,467	104,566,003
売買益	671,263	2,478,784	400,484,309	1,945,471	2,768,187	105,210,730
売買損	△ 23,553,783	△ 2,400,335	△ 8,777,045	△ 97,681,916	△ 328,633,649	△ 644,727
(C) 信託報酬等	△ 7,163,223	△ 7,476,803	△ 7,804,669	△ 6,949,941	△ 7,463,996	△ 5,945,085
(D) 当期損益金(A+B+C)	104,605,794	123,881,781	512,708,518	24,252,858	△ 208,431,042	222,792,008
(E) 前期繰越損益金	△19,556,963,517	△18,847,701,689	△18,237,591,864	△17,351,551,729	△16,914,969,135	△16,914,917,491
(F) 追加信託差損益金	△ 4,010,168,496	△ 3,907,496,615	△ 3,828,304,405	△ 3,766,550,268	△ 3,694,741,966	△ 3,669,925,964
(配当等相当額)	( 701,958,153)	( 684,991,070)	( 672,233,439)	( 662,626,230)	( 651,249,057)	( 648,220,018)
(売買損益相当額)	(△ 4,712,126,649)	(△ 4,592,487,685)	(△ 4,500,537,844)	(△ 4,429,176,498)	(△ 4,345,991,023)	(△ 4,318,145,982)
(G) 計(D+E+F)	△23,462,526,219	△22,631,316,523	△21,553,187,751	△21,093,849,139	△20,818,142,143	△20,362,051,447
(H) 収益分配金	△ 61,793,205	△ 59,774,998	△ 58,129,472	△ 56,804,109	△ 55,352,662	△ 54,587,948
次期繰越損益金(G+H)	△23,524,319,424	△22,691,091,521	△21,611,317,223	△21,150,653,248	△20,873,494,805	△20,416,639,395
追加信託差損益金	△ 4,010,168,496	△ 3,907,496,615	△ 3,828,304,405	△ 3,766,550,268	△ 3,694,741,966	△ 3,669,925,964
(配当等相当額)	( 701,958,153)	( 684,991,070)	( 672,233,439)	( 662,626,230)	( 651,249,057)	( 648,220,018)
(売買損益相当額)	(△ 4,712,126,649)	(△ 4,592,487,685)	(△ 4,500,537,844)	(△ 4,429,176,498)	(△ 4,345,991,023)	(△ 4,318,145,982)
分準備積立金	4,108,044,455	4,032,634,643	3,984,824,018	3,951,914,525	3,907,991,797	3,914,680,380
繰越損益金	△23,622,195,383	△22,816,229,549	△21,767,836,836	△21,336,017,505	△21,086,744,636	△20,661,393,811

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程(2016年4月19日～2016年10月17日)は以下の通りです。

項 目	2016年4月19日～ 2016年5月17日	2016年5月18日～ 2016年6月17日	2016年6月18日～ 2016年7月19日	2016年7月20日～ 2016年8月17日	2016年8月18日～ 2016年9月20日	2016年9月21日～ 2016年10月17日
a. 配当等収益(経費控除後)	127,487,904円	123,807,551円	126,874,046円	119,989,116円	117,434,202円	120,943,344円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越大損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	701,958,153円	684,991,070円	672,233,439円	662,626,230円	651,249,057円	648,220,018円
d. 信託約款に定める分準備積立金	4,042,349,756円	3,968,602,090円	3,916,079,444円	3,888,729,518円	3,845,910,257円	3,848,324,984円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	4,871,795,813円	4,777,400,711円	4,715,186,929円	4,671,344,864円	4,614,593,516円	4,617,488,346円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	1,576円	1,598円	1,622円	1,644円	1,667円	1,691円
g. 分配金	61,793,205円	59,774,998円	58,129,472円	56,804,109円	55,352,662円	54,587,948円
h. 分配金(1万口当たり)	20円	20円	20円	20円	20円	20円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

## ○分配金のお知らせ

	第67期	第68期	第69期	第70期	第71期	第72期
1 万口当たり分配金（税込み）	20円	20円	20円	20円	20円	20円

## ○お知らせ

### 約款変更について

2016年4月19日から2016年10月17日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド エマージング・カレンシー・ストラテジー・クラス
	ケイマン籍円建外国投資信託
<b>運用の基本方針</b>	
基本方針	信託財産の成長および毎月分配を行なうことを目標に積極的な運用を行いません。
主な投資対象	世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)および新興国の通貨戦略の投資成果を享受するためのトータル・リターン・スワップ取引またはフォワード取引などを投資対象とします。
投資方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>運用にあたっては、世界各国の高利回り証券(高利回り債券、不動産等関連証券、優先証券等)を主な投資対象とし、円ヘッジベースでの信託財産の成長および毎月、分配を行なうことを目標に積極的な運用を行いません。</li> <li>信託財産の純資産総額に対して、新興国通貨戦略に関するスワップ取引またはフォワード取引などの実質的な建玉の割合が130%程度となるよう調整を行いません。</li> </ul>
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>純資産総額の50%以上を有価証券に投資します。</li> <li>投資信託証券など(ETFとREITを除きます。)への投資割合は純資産総額の5%を超えないものとします。</li> <li>不動産運動社債への投資割合は純資産総額の10%を超えないものとします。</li> <li>仕組債やカバードワラントなどの仕組証券(不動産運動社債を除きます。)への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。</li> <li>流動性に欠ける資産への投資割合は純資産総額の15%を超えないものとします。</li> <li>純資産総額の10%を超える借入れは行いません。</li> </ul>
収益分配	原則として、毎月第2営業日に分配を行いません。なお、投資顧問会社の判断により収益分配を行わないことがあります。
<b>ファンドに係る費用</b>	
信託報酬など	純資産総額に対し年率0.861%(国内における消費税等相当額はかかりません。) ※この他に、固定報酬として年額5,000米ドルがかかります。
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時の基準価額に対し0.3%(1口当たり)
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。
<b>その他</b>	
投資顧問会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
副投資顧問会社	クレディ・スイスAG スペクトラム・アセット・マネジメント・インク J.P.モルガン・インベストメント・マネジメント・インク
管理会社	シティグループ・ファースト・インベストメント・マネジメント
信託期間	2157年10月21日まで
決算日	原則として、毎年10月31日

## ◆財政状態計算書

## ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日現在  
 (日本円で表示)  
 2015年  
 千円

## 資産

## 流動資産

現金および現金同等物	880,037
損益を通じて公正価値評価される金融資産	10,569,502
未収利息	126,384
未収配当金	15,245
ブローカーからの未収金	258,363
<b>資産合計</b>	<b>11,849,531</b>

## 負債

## 流動負債

損益を通じて公正価値評価される金融負債	52,674
ブローカーに対する未払金	37,162
未払費用およびその他未払金	21,354
<b>負債合計 (受益者に帰属する純資産を除く)</b>	<b>111,190</b>

受益者に帰属する純資産 **11,738,341**

## 受益証券残高数合計

クラスA	49,254,547,305
クラスB	3,770,496,460
クラスC	119,168,316
クラスD	112,414,652

## 受益証券1口当たり純資産価額

クラスA	¥	0.1827
クラスB	¥	0.6693
クラスC	¥	0.9885
クラスD	¥	0.8727

## ◆包括利益計算書

## ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日に  
終了した会計期間  
(日本円で表示)  
千円

受取利息	673,675
受取配当金	321,697
損益を通じて公正価値評価される金融資産に係る純利益（損失）	(3,365,474)
純為替差益	93,020
雑収益	10,313
<b>（損失）／利益合計</b>	<b>(2,266,769)</b>
運用報酬	( 119,968)
管理、名義書換代理人、カストディアン報酬	( 16,464)
ライセンス料	( 12,132)
監査費用	( 8,400)
法律顧問費用	( 998)
受託者報酬	( 659)
銀行手数料	( 54)
支払利息	—
財務書類作成費用	( 2,437)
その他	( 1,291)
<b>運用費用合計</b>	<b>( 162,403)</b>
<b>運用による税引前（損失）／利益</b>	<b>(2,429,172)</b>
源泉徴収税	(56,496)
受益者に対する分配金	(4,879,627)
<b>当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計</b>	<b>(7,365,295)</b>



## ◆受益者に帰属する純資産の変動計算書

## ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日に  
終了した会計期間  
(日本円で表示)  
千円

2014年11月1日現在残高	22,002,563
受益者との取引	
受益証券の申込み	
－クラスA	1,136,580
－クラスB	210,482
－クラスC	93,340
－クラスD	24,176
	1,464,578
受益証券の買戻し	
－クラスA	( 3,167,745)
－クラスB	( 1,173,617)
－クラスC	( 14,022)
－クラスD	( 8,121)
	( 4,363,505)
受益者との取引合計	( 2,898,927)
当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計	( 7,365,295)
2015年10月31日現在残高	11,738,341

## ◆キャッシュ・フロー計算書

## ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年10月31日に  
終了した会計期間  
(日本円で表示)  
千円

**運用活動**

当期の運用による受益者に帰属する純資産の変動および包括利益合計調整額：	( 7,365,295)
受取利息	( 673,675)
受取配当金	( 321,697)
源泉徴収税	56,496
受益者に対する分配金	4,879,627
<b>運転資本変更前営業損失</b>	<b>( 3,424,544)</b>

損益を通じて公正価値評価される金融資産の増減額	10,479,227
ブローカーからの未収金の減少額	41,468
損益を通じて公正価値評価される金融負債の増減額	( 762,421)
ブローカーに対する未払金の減少額	( 291,901)
未払費用およびその他未払金の減少額	( 6,327)
利息受領額	788,893
配当金受領額	333,618
源泉徴収税支払額	( 56,496)
<b>運用活動から生じた現金純額</b>	<b>7,101,517</b>

**財務活動**

受益証券申込みに係る手取金	1,527,289
受益証券買戻しに係る支払金	( 4,407,398)
受益者に対する分配金	( 4,879,627)
<b>財務活動で使用した現金純額</b>	<b>( 7,759,736)</b>

<b>現金および現金同等物の純減少額</b>	<b>( 658,219)</b>
------------------------	-------------------

2014年11月1日現在の現金および現金同等物の残高	1,538,256
----------------------------	-----------

2015年10月31日現在の現金および現金同等物の残高	880,037
-----------------------------	---------

## ◆損益を通じて公正価値評価される金融資産および金融負債

## ハイブリッド・トライ・アセット・ファンド

2015年  
千円

## 売買目的保有資産：

非デリバティブ金融商品（上場）：

－ 株式	2,035,516
－ 不動産投資信託（REIT）	1,667,426
－ 投資ファンド	42,635
	<u>3,745,577</u>

デリバティブ金融商品（非上場）：

－ トータル・リターン・スワップ	267
	<u>267</u>

## 損益を通じて公正価値評価される金融資産：

非デリバティブ金融商品（非上場）：

－ 債券	6,683,931
－ ローン	139,727
	<u>6,823,658</u>
	<u>10,569,502</u>

# マネー・アカウント・マザーファンド

## 運用報告書

第7期（決算日 2016年10月12日）  
（2015年10月14日～2016年10月12日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行いません。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行いません。 外貨建資産への投資は行いません。

## ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行いません。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

## 【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

## ○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率	純 資 産 額
		騰 落	中 率			
3期(2012年10月12日)	円		%		%	百万円
	10,027		0.1		78.6	699
4期(2013年10月15日)	10,035		0.1		88.6	778
5期(2014年10月14日)	10,042		0.1		60.8	707
6期(2015年10月13日)	10,043		0.0		62.9	620
7期(2016年10月12日)	10,042		△0.0		—	483

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比	券 率
		騰 落	率		
(期 首) 2015年10月13日	円		%		%
	10,043		—		62.9
10月末	10,044		0.0		67.6
11月末	10,044		0.0		63.3
12月末	10,044		0.0		65.3
2016年1月末	10,044		0.0		65.7
2月末	10,044		0.0		72.8
3月末	10,044		0.0		67.6
4月末	10,044		0.0		—
5月末	10,043		0.0		—
6月末	10,043		0.0		—
7月末	10,043		0.0		—
8月末	10,043		0.0		—
9月末	10,042		△0.0		—
(期 末) 2016年10月12日	10,042		△0.0		—

(注) 騰落率は期首比です。

## ○運用経過

(2015年10月14日～2016年10月12日)

## 基準価額の推移

期間の初め10,043円の基準価額は、期間末に10,042円となり、騰落率は△0.0%となりました。

## 基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

## &lt;値上がり要因&gt;

- ・利息収入などを得たこと。

## &lt;値下がり要因&gt;

- ・無担保コール翌日物金利がマイナス圏で推移したこと。

## (国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めから2016年2月前半までは、概ね0.05～0.09%の範囲で安定的に推移しました。2月後半以降は、日銀によるマイナス金利の導入開始などを受けて低下し、-0.03%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けて低下が進み、-0.31%近辺で期間末を迎えました。

## ポートフォリオ

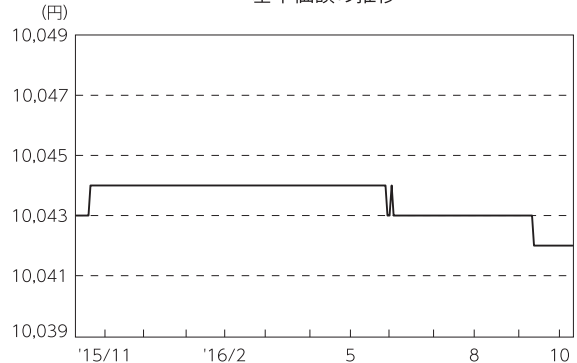
運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

## ○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主要投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

基準価額の推移



期首	期中高値	期中安値	期末
2015/10/13	2015/10/22	2016/09/12	2016/10/12
10,043円	10,044円	10,042円	10,042円

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 ( そ の 他 )	円 0 (0)	% 0.000 (0.000)	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、10,043円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

## 公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内	国債証券	千円 3,051,625	千円 2,311,628 (1,130,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 債券現先を含めています。

## ○ 利害関係人との取引状況等

(2015年10月14日～2016年10月12日)

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
金銭信託	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0	百万円 6,022	百万円 6,022	% 100.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

## ○組入資産の明細

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2016年10月12日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	484,532	100.0
投資信託財産総額	484,532	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。



## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2016年10月12日現在)

項	目	当	期	末
(A) 資産				円
	コール・ローン等			484,532,285
(B) 負債				
	未払解約金			484,532,285
	未払利息			1,508,661
(C) 純資産総額(A-B)				1,508,236
	元本			425
	次期繰越損益金			480,993,642
(D) 受益権総口数				2,029,982
	1万円当たり基準価額(C/D)			480,993,642口
				10,042円

(注) 当ファンドの期首元本額は617,609,609円、期中追加設定元本額は297,706,739円、期中一部解約元本額は434,322,706円です。

(注) 2016年10月12日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・資源株ファンド通貨選択シリーズ<ブラジルリアル・コース>(毎月分配型)	61,656,805円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)	766,040円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	60,490,846円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	748,136円
・エマージング・プラス(マネーボールファンド)	41,242,762円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	723,698円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	39,127,773円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ブラジルリアルコース	709,751円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	37,663,662円	・インデックスファンドMLP・為替ヘッジあり(適格機関投資家向け)	593,798円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	36,556,016円	・アジア・ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)	525,717円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マネーボールファンド)	36,148,905円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<南アフリカランド・コース>(毎月分配型)	443,169円
・世界標準債券ファンド	26,395,547円	・世界のサイフ2(毎月分配型)	401,193円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース	26,144,472円	・USハイインカム・ストラテジー・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	352,186円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	17,125,049円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドルビー・コース	338,114円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	15,873,379円	・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)インドネシアルピア・コース	239,584円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし	11,068,946円	・ノーロード・インド株式フォークス(毎月分配型)	113,740円
・グリーン世銀債ファンド	6,903,139円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)資源国通貨コース	105,748円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(新興国通貨戦略コース)	6,735,212円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジあり	102,030円
・RS豪ドル債券ファンド	5,978,333円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<オーストラリアドル・コース>(毎月分配型)	5,941,746円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)オーストラリアドルコース	83,734円
・エマージング・プラス・円戦略コース	4,291,213円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジあり)	70,452円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	3,565,140円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(ヘッジなしコース)	69,984円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	3,231,725円	・オーストラリア・ハイインカム株式ファンド(毎月分配型)	67,920円
・高金利成長通貨ファンド(毎月分配型)	2,827,219円	・世界の高配当株式ファンド(通貨選択シリーズ・毎月分配型)ヘッジなしコース	60,028円
・アジアリートファンド(毎月分配型)	2,818,206円	・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(通貨プレミアムコース)	45,596円
・SMBC・日興 世銀債ファンド	2,514,471円	・グローバル・ハイブリッド・プレミア(為替ヘッジなし)	40,174円
・アジアREITオープン(毎月分配型)	2,455,213円	・アジア債券ファンド(毎月分配型)	38,161円
・グローバルC o C o 債ファンド 円ヘッジコース	1,967,243円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジなし	34,825円
・ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり	1,490,881円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・グローバルC o C o 債ファンド 新興国高金利通貨コース	1,471,114円	・上場インデックスファンドNifty50先物(インド株式)	19,983円
・欧州社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	1,455,837円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・日興ハイブリッド3分法ファンド毎月分配型(円ヘッジコース)	1,425,937円	・上場インデックスファンド中国H株(ハンセン中国企業株)	19,983円
・日興グラビティ・ファンド	1,370,174円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース	1,360,527円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(1年決算型)為替ヘッジなし	16,862円
・グローバルC o C o 債ファンド 先進国高金利通貨コース	1,072,272円	・ノーロード世界株式トップフォーカス	13,682円
・日興マネー・アカウント・ファンド	1,069,770円	・ノーロード・シンガポール高配当株式フォークス(毎月分配型)	12,516円
・アジアインフラ株ファンド(毎月分配型)ブラジルリアル・コース	1,062,142円	・上場インデックスファンド新興国債券(パークレイズLocal EM国債)	9,981円
・欧州社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	998,560円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円
・グローバルC o C o 債ファンド ヘッジなしコース	921,896円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・日興GSグローバル・マーケッツ・ファンド	840,733円	・ABグローバル・ハイインカム・オープン(毎月分配型)為替ヘッジあり	4,287円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・円コース	779,930円		

(注) 1口当たり純資産額は1.0042円です。

## ○損益の状況

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益	△	53,652
	受取利息		48,057
	支払利息		△ 101,709
(B)	有価証券売買損益		244
	売買益		244
(C)	保管費用等	△	2,013
(D)	当期損益金 (A + B + C)	△	55,421
(E)	前期繰越損益金		2,682,400
(F)	追加信託差損益金		1,297,094
(G)	解約差損益金	△	1,894,091
(H)	計 (D + E + F + G)		2,029,982
	次期繰越損益金 (H)		2,029,982

(注) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

## ○お知らせ

## 約款変更について

2015年10月14日から2016年10月12日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。